

監督会議資料(団体戦)

令和6年10月19日(土) 9時00分～
会場 坂出市立体育館2F会議室

1 プログラムの確認(選手変更・ミスプリントなど)

2 競技ルールについて

- (1) 現行の日本卓球ルールを適用して行う。
- (2) 試合球は、日本卓球協会公認の白色40ミリ(プラスチックボール)を使用する。
ボール選択所は設置しない。各コートにケースに入れておく。
(本部では、ニッタク・VICTAS・タマス3社のボールを準備する：四国卓連申し合わせ事項)
- (3) 試合は予選リーグの後、予選リーグの1・2位チームにより決勝トーナメントを実施する。
予選リーグ終了後、各チーム代表者により抽選を行う。
- (4) 試合は、3～4名によるABC・XYZ方式で行います。

3名の場合	1	2	D	4	5	4名の場合	1	2	D	4	5
	A	B	BC	A	C		A	B	CD	A	C
	X	Y	XZ	Y	Z		X	Y	WZ	Y	Z

- (5) 団体戦のベンチには、登録された監督・コーチ及び選手しか入れない。
- (6) アドバイスは、ゲーム間の1分間とタイムアウトのときだけです。
- (7) タイムアウト制は、準決勝より適用する。
- (8) ラバー接着剤の使用は、指定された貼替所(1F)でお願いします。

3 競技進行について

(1) オーダー用紙の提出について

- ① 監督は、ABC・XYZの両方のオーダーを記入しておき、ABC・XYZをトスによって決定後、直ちに提出する。
- ② 第1試合のオーダー用紙は、開会式終了後速やかに進行席へ提出してください。第2試合以降については、各ブロックごとに放送により連絡をします。

(2) 試合順序について

第1試合 1-4 ・ 2-3 ① 1・2番

第2試合 1-3 ・ 2-4 ② 3番(D)

第3試合 1-2 ・ 3-4 ③ 4・5番

- (3) 試合は、すべて3点先取とし、試合結果については、勝者が速やかに進行席まで報告してください。(両チームの監督で、ポイントまで確認すること)
- (4) ベンチは、番号の若いチームが本部席側とする。
- (5) 試合は、すべて2コートを使用して行う。
- (6) 審判については、予選リーグと決勝トーナメント1回戦は相互審判で実施する。
準決勝より開催県が行う。

4 その他

- (1) 本日の練習は、9時30分までとする。サブアリーナは、終日、練習会場とする。
- (2) 開会式(9時40分)には、各県のプラカードに従って整列してください。また、出場する選手は必ず参加してください。
- (3) 昼食の時間は、設けません。
- (4) 貴重品の管理・ゴミの処理(持ち込んだものはすべて持ち帰りとなります)・上下靴の区別は、各チームで責任を持って行ってください。
- (5) 明日の練習は、8時から8時50分までとする。